

【出題意図】

総合型選抜の小論文は、「大学の講義のミニ体験」だと考えて下さい。

動画(講義の代用)を視聴し、「内容を理解できていること」、「理解した内容を自分の経験や身の回りのことと結びつけて考えられること」、これらが評価対象となります。

◆みているポイント◆

・問 1 は「理解力」：動画の内容を正しく整理し、記述できるか

問 1 には“正解”があります。動画の内容を正確に理解し、短くまとめ、伝えることがポイントです。動画の中の重要な部分を 200 字で正しくまとめてください。

・問 2 は「考える力」：動画をきっかけに、自分の体験や社会の出来事とつなげ、深く考えられるか

問 2 には“正解”がありません。動画の内容を出発点にし、自分の体験や社会の出来事と結びつけながら、自分なりの考えを深めてください。どんな視点で書くかは自由ですが、動画の内容を土台にして、自分の発想を順序立てて書くことが大切です。

◆書くときの注意点◆

1. 動画内容と関係のある話を書きましょう！：動画と関係の薄い話は、ただの「自分語り」になってしまいます。

2. 自分の体験を書いたら、必ず動画の話に戻りましょう！：体験を熱く語りすぎて、動画内容との関連が尻切れトンボにならないようにしましょう。

以上のことから、問 1 と問 2 では、求められている文章が異なります。問 1 は「正しくまとめる」こと、問 2 は「広げて考える」こと、これらの違いを意識して、上手に書き分けてください。

出題年度：2024 年度

【模範解答】

<Ⅲ>

問 1

- ① 1つ目は、「思う・感じる性」である。たとえば、「自分は男だ」や、「自分は女だ」というように、どのように自分の性を思い、感じているかを指す。2つ目は、「あらわす性」である。たとえば、女性でもズボンを履くことが好き、僕や俺と呼ぶ等、どのように自分の性を表現するかをさす。3つ目は、「好きになる性」である。たとえば、女性が女性、女性が男性を好きになる等、どんな性別の人を好きになるかをさす。(194 字)
- ② 性的マイノリティの人は多くの人とは違うソジーを持っている。これを理由に、昔から差別や偏見を受けており、現在でもそのような状況が続いている。性的マイノリティの人の中には、自己肯定感が低く死にたいと思う人もおり、家庭や社会の中で目立たないように自分のソジーを隠したり、自分らしさを押し殺しながら生きていたりする。以上より、周りにいる性的マイノリティの存在に気づきにくい状況が生まれている。(192 字)
- ③ カミングアウトとは、性的マイノリティの人が自分のソジーについて誰かに伝えることである。伝えた人は信頼している人に勇気を出して話しているので、話してほしくない相手がいれば話さないように気をつける。アウティングとはカミングアウトした人が「話してもいい」と言った人以外にソジーを勝手に伝えることである。アウティングをすることは、時として信頼して話してくれた人を苦しめることになる。十分な配慮が必要である。(199 字)

問 2

【採点ポイント】 ※出題意図にて記載の通り、“正解”はありません。

- ・「おとこらしさ」や「おんならしさ」だけではなく、「その人らしさ」を大切にしている。
- ・性役割を決めつけず、多様なソジーを尊重するための具体策を提案している。
- ・性的マイノリティの人を差別するような言葉は使わない、「嫌がらせ」や「いじめ」等のハラスメント等をしない、等の態度について生活場面に即した提案をしている。